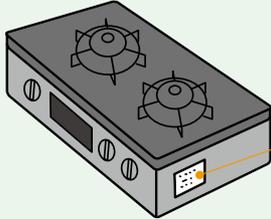


ガス機器を安全にご使用いただくためのお願い

① お届けしているガスの種類は都市ガス 12A です

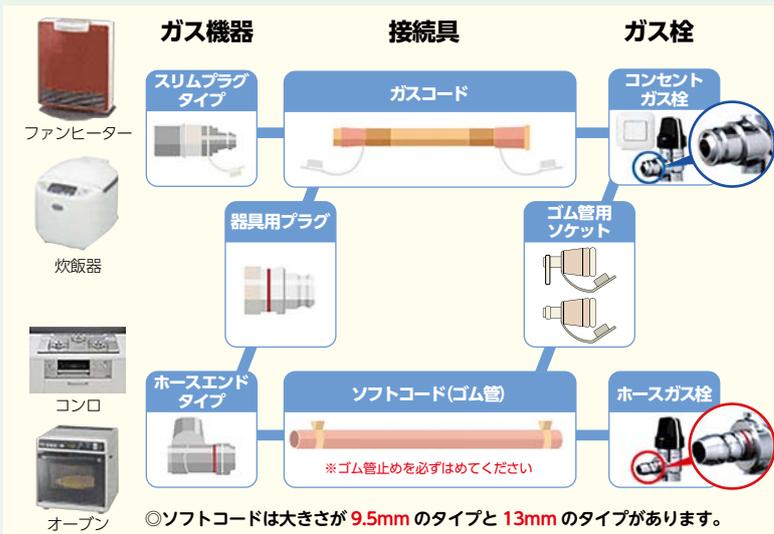
- ガスの種類にあったガス機器を購入し、使用してください。
- ガス機器には、適応するガスの種類を示したラベルが貼られています。
- ガスの種類とあっていないと、正常な燃焼をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。



AB-120-(a) → 形式
 都市ガス用○○○ → 適応するガスの種類
 000kW (000kcal/h) → ガス消費量
 2017040001 → 製造年月・製造番号
 ○○○株式会社 → メーカー名

② ガス機器を接続するときは“形”と“大きさ”を確認してください

- 形状やサイズがあていないものを接続した場合、接続箇所からガスが漏れ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。
- ガス機器・ガス栓の接続口のタイプはそれぞれ2種類。接続器具をガス機器・ガス栓へつなぐときは形状やサイズを確認し、それぞれにあったものを使用してください。



ガス栓への取り付け方

コンセントガス栓
 接続面にごみなどの異物がないことを確認して確実に接続してください。

ソケットに無理な力がかけられないよう適切な種類を選んでください。

ホースガス栓
 ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。

赤い線がない場合は接続方法が正しくない可能性があります。

ゴム管止めをキッチリ止める
 赤い線まで差し込む

ガス機器とガス栓をつなぐ場合は、接続具を必ずガス機器側からつないでください。

誤った接続による事故が発生しています。

▶大きさ 9.5mm のホースエンドタイプのテーブルコンロ接続口に、誤って大きさ 13mm のソフトコードを接続したため、ガスもれが発生。テーブルコンロの火をつけた際、もれたガスに引火し接続具を焼損した。

●接続不可例

9.5mm ホースエンドタイプ × 13mm

▶テーブルコンロを使用する際に、ホースガス栓に誤ってゴム管用ソケットをつなげたソフトコードを接続していたため、ガスもれが発生。テーブルコンロ使用中に、もれたガスに引火し、接続具を焼損した。

●接続不可例

ゴム管用ソケット × ホースガス栓

③ ガスを使うときは“換気”をしてください

- ガスが燃えるには新鮮な空気が必要です。換気（給気と排気）が不十分な状態でガスを燃焼すると、酸素が不足して、不完全燃焼となり、有毒な一酸化炭素（CO）が発生し、中毒となる恐れがあります。

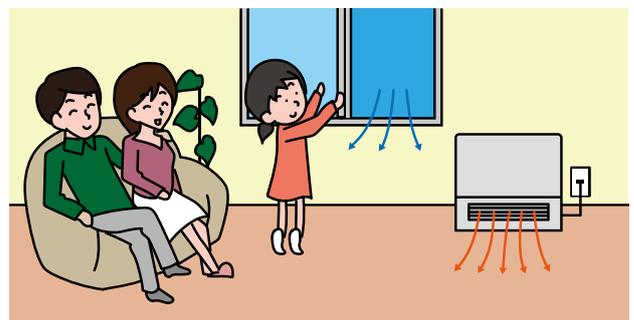
お台所で

こんろや小型湯沸器をお使いになるときは、必ず換気扇を回すか窓を開けて換気しましょう。小型湯沸器は安全装置がついていても必ず換気しましょう。使用中に止まったら、再点火を繰り返さずガス機器購入店やメーカーへ点検依頼してください。



お部屋で

ストーブやファンヒーターをお使いになるときは、1時間に1～2回程度、換気を行い、新鮮な空気に入れ替えましょう。



④ ガスの安全な使い方《こんな使い方は大変危険です!》

お台所で

ガスコンロ

揚げものをしているときやグリルを使用しているときは、その場を離れないでください。来客や電話などでその場を離れるときには、必ず火を止めてください。



小型湯沸器

小型湯沸器で浴槽・洗濯機への給湯、シャワー、洗髪等の長時間連続使用は不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となり、大変危険です。絶対におやめください。



お部屋で

ガス暖房機

ガスストーブやガスファンヒーターの付近には、スプレー缶や衣類など燃えやすいものは置かないでください。また、小さなお子さまがいるご家庭ではやけどなどに注意しましょう。



ガス衣類乾燥機

油分の付着した衣類は、洗濯後でも油が完全に落ちていない場合があります。油の酸化発熱により自然発火する恐れがありますので、ポリプロピレン繊維製の衣類や油分が付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機で乾燥させないでください。

(油分例)美容オイル、用油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジン、シンナー、ガソリン、セルロース系樹脂など



お風呂で

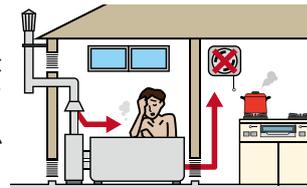
屋外ガス機器 屋外に給排気筒(煙突)が出ている機器

窓や開口部から排気が屋内に流入し、不快なおいがしたり気分が悪くなる恐れがありますので、ガス機器使用中は、屋外のガス機器や給排気筒(煙突)付近の窓を必ず閉めてください。設置状況によっては、ガス機器の移設などが必要な場合があります。



排気筒(煙突)があるふろがま(CF式ふろがま)

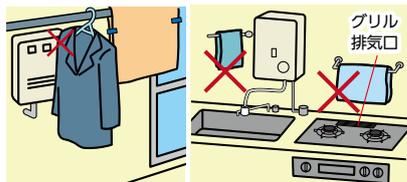
お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所の換気扇などを使用すると、ふろがまの排気が浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす場合があります。また、給気口、換気口がふさがっていると、浴室内の空気が不足して一酸化炭素中毒を起こす場合があります。給気口がないときは浴室の窓やドアを開けてご使用ください。



お台所・お部屋 お風呂共通

ガス機器の周辺には可燃物を置かないでください

取扱説明書に記載にしたがい、可燃物は、ガス機器との離隔距離を正しくとってください。



キッチンペーパーやタオルなどをガス機器のまわりに置かないようにしましょう。機器側方や上方にはタオル掛けなどは設置しないでください。

工事を行う場合は、機器の使用にご注意ください

屋外にあるガス機器や給排気筒(煙突)をふさぐと、新鮮な空気が不足して不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒やガス機器の故障につながる場合があります。外壁塗装工事等によりやむをえず取り外したり、養生のためにシートでおおったりした場合は、ガス機器を絶対に使用しないでください。



⑤ ガス機器は定期的にお手入れをしてください

- ガス機器の使用に際しては、取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。
- ガス機器や給排気設備はときどき清掃・点検しましょう。
- ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは排気筒(煙突)の外れや壊れないかどうか確認してください。

排気筒(煙突)内に鳥が巣を作っていませんか?

排気筒(煙突)の外れ、穴開き、つまりはありませんか?

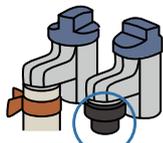
給気口はふさがっていませんか?



こんなところも要チェック

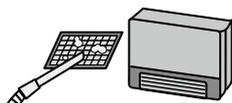


古いゴム管やひび割れ、固くなったものはお取り替えください。



使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。

暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどでお掃除しましょう。

小型湯沸器

小型湯沸器の上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。



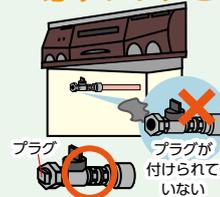
⑥ ガス機器の設置は販売店へ相談してください

- ガス機器が正しく設置されない場合、接続箇所からガス漏れ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。また、燃焼した排気ガスが屋内に入り込み、一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
- 固定して使用されるガス機器の設置には、安全性などの面から、最新の知識や専門的な設置技能が必要です。特に屋内に風呂釜など一部のガス機器を設置する場合は、法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられており、工事を行う場合は国で定められた資格が必要です。対象となるガス機器または設置工事の方法は、ガス機器販売店にお問合せください。

接続部がコンロ下などの高温部に近づかないように接続します。



不使用のネジガス栓には必ずプラグを取り付けます。

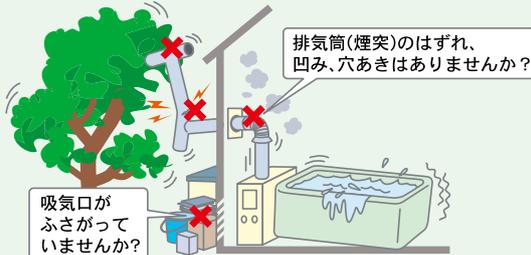


使われていないネジガス栓にはプラグを取り付けてください。
※プラグが取り付けられていない場合はガス事業者にご連絡ください。

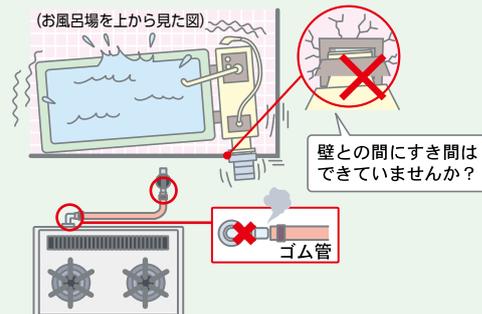
⑦ 地震のあと、ガスをふたたび使うときには確認を

- まず身の安全を確保してください。揺れがおさまってから、使用していたガス機器の火を消してください。ふたたびガスを使用するときは、ガス機器本体に変形・破損など異常がないか、また煙突式など屋内外の給排気設備に、外れ・凹み・閉塞がないか確認してください。

- ✓ ガス機器周囲でガスの臭いがしないか
- ✓ ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- ✓ 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか
(はずれ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください。)



- ✓ ガス接続具が正しく接続されているか
(接続具に外れがないか目視確認してください。)

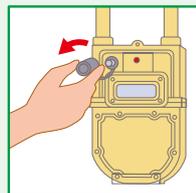


⑧ ガスが出ないときは、ガスメーターを確認してください

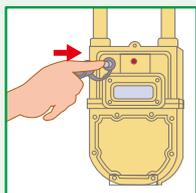
① すべての器具栓、ガス栓を閉じ、ガス機器を止める。屋外の機器も忘れずに。



② 復帰ボタンのキャップを左にまわして外す。



③ 復帰ボタンを奥まで押し込み、すぐに手を離す。点滅は続きます



④ 約3分待つ (ガスの使用を3分間お待ちください。この間にガスもれがないか確認しています)。3分経過後も、ガスが止まったままで赤ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガスもれが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。ガス栓の閉め忘れなどがあった場合は復帰の手順①に従って操作して下さい。ガス栓の閉め忘れなどがない場合は復帰の手順③に戻って操作して下さい。それでも復帰しない場合は大多喜ガスまでご連絡ください。

ガスくさいときは、復帰の操作をしないでただちに大多喜ガスへご連絡ください。

⑨ ガスくさい場合はすぐにご連絡ください

- ガス漏れは、火災や爆発の恐れがあり危険です。ガスくさいときや、ガス警報器が鳴った場合は、すぐに大多喜ガスへご連絡ください。



ガスくさいとき、警報器が鳴っているときは

火気厳禁、電気のスイッチに触れないでください。



窓や扉を開け、ガス栓、メーターガス栓を閉めてください。



- ① お名前
- ② ご住所
- ③ ご近所の目標
- ④ その場の状況

大多喜ガス株式会社

【一般お問い合わせ先】
(電話受付時間 9:00~17:30)

【ガス漏れ通報専用電話】
(24時間電話受付)

茂原

0475-24-6151

0475-23-5147

市原

0436-24-1221

0436-24-1225

千葉

043-291-1143

043-291-1807

八千代

047-482-7235

047-482-7236

▶ もしものために暮らしを見張ります ガス漏れ、ガス事故などの緊急時に備えて、係員と緊急車が常時待機しています。